

平成20年度事業報告書

福井市固有の歴史的環境の整備と管理及び関連する文化財等の保全ならびに歴史的文化活動の振興を図り、福井市における住民生活の充実と豊かで潤いのある個性的なまちづくりに寄与するため、平成20年度は次の事業を実施し、歴史のみえるまちづくりの推進に努めた。

【公益事業】（補助事業等）

1. 歴史的環境整備促進事業

（1）歴史的石碑設置

① 「旧米町」石碑設置

米町は、17世紀初頭の古い城下絵図にも記載された古い町名で、米商人が多く住んでいたことに由来している。特に豪商であった山口家には、藩主松平春嶽が、城下視察の際に訪れており、この様子を描いた「山口家御成の図」と解説文、位置図を表示した石碑を設置した。

設置場所 福井市順化2丁目地係り 私有地

仕 様 【本 体】 大きさ:W700mm×H900mm×D250mm
材 質:白、錆、桜ミカゲ石・切削仕上げ
【解説板】 大きさ:W350mm×H500mm
材 質:ステンレスホーロー焼付け
【町名表示】 大きさ:W150mm×H480mm
材 質:ステンレスホーロー焼付け

② 「芝原上水」石碑設置

芝原用水は、福井藩祖結城秀康が、城下の飲料水確保を主な目的として造らせたもので、九頭竜川で取水し中ノ郷で分流された。その一つである内輪用水（中ノ郷～啓蒙～志比口～城下）が通る啓蒙地区に、福井市が実施している「水と緑のネットワーク整備事業」による親水緑道整備に合わせて、絵図と解説文を表示した石碑を設置した。

設置場所 福井市新保2丁目地係り 芝原上水沿い

仕 様 【本 体】 大きさ:W500mm×H900mm×D250mm
材 質:桜ミカゲ石・切削仕上げ
【解説板】 大きさ:W350mm×H500mm
材 質:ステンレスホーロー焼付け

③ 石碑・彫像の洗浄

これまでに設置した物件のうち、特に汚れが目立つ石碑（笏谷石製）10基と彫像2基の専門業者による洗浄作業を実施。

2. 歴史的文化活動振興事業

(1) 伝統行事支援

市内で継承されている伝統行事（文化財の指定を受けていないもの）の伝承事業を支援することによって、行事の継承と歴史のみえるまちづくり事業の一層の進展を図るため助成金を交付する。

募集期間 4月10日～5月31日
申請団体 なし

(2) 地域づくり歴史ボランティアグループ支援

歴史的拠点施設等の美観の保持及び地域の歴史遺産の保存、先人の顕彰事業に取り組む地域のボランティアグループを支援することにより、地域の歴史に対する認識の醸成を図り、歴史のみえるまちづくり事業の一層の進展を図るため、助成金を交付する。

募集期間 4月10日～5月31日
申請団体 なし

3. 普及啓発事業

(1) 歴史人材バンク「語り部」の育成

福井市歴史ボランティアグループ「語り部」に助成金を交付すると共に、活動に関わる事務処理、広報等の支援をした。

【会員数】 50人(平成21年3月31日現在)

【ガイド実績】 84件(1,423人)

【講演件数】 14件(551人)

【主催行事】「語り部」と歩く歴史探訪の実施(参加人数 延べ80名)

・第1回 足羽地区を歩く・第2回 湊地区を歩く・第3回 一乗地区を歩く

【研修】 ・現地研修会(3回)・座学研修会(5回)・調査・資料収集

【その他】 観光ボランティアガイドの県外研修・全国大会等への参加

JR企画 駅からウォーキングのガイド

『語り部だより』の発行(1000部)

(2) 歴史パンフレット発行

①「ふくい歴史マップ」増刷

福井市中心部から足羽山周辺の史跡を紹介している。在庫が少なくなったため、一部改訂し増刷した。

部 数：35,000部

平成17年初版 30,000部

平成18年2版 35,000部

配布先：観光案内所・旅館ホテル・イベントなどのほか希望の方に随時配している。

②「松平春嶽生誕180年パンフレット」発行

平成20年が幕末の福井藩主松平春嶽生誕180年にあたることから、春嶽の生涯、ゆかりの人々や年度内に市内で実施された関連イベントなどを紹介するパンフレットを発行。

部 数：30,000部

配布先：県内公共施設、市内・芦原温泉の旅館ホテル、イベント会場他

(3) 協会ホームページ

事業広報、予算・決算の情報公開等のため、年4回の更新作業を実施。

(4) 協会会報の発行

協会の活動を市民に知らせ、歴史のみえるまちづくり事業への理解を深めるため、会報を発行。

発行部数：12,000部

配布先：町内回覧(7,562部)・公共施設他

【収益事業】(受託事業)

1. 歴史的環境保全事業

(1) 歴史的建造物調査・活用

平成9年度から平成14年度にかけて調査した旧福井市域の歴史的建造物調査に併せ、合併後未調査のまま残っていた越廼・美山・清水の三地区の内、越廼地区に残存する歴史的建造物の調査を行った。

- (1) 実施方法 歴史的建造物の研究を行っている福井工業大学吉田純一氏に依頼し、現地調査を実施。

(2) 対象物件 越廼地区内にある古民家、神社、寺院、石祠、重要現代建築物等とし、およそ築後50年以上経過したものを対象に調査を実施。

(3) 報告書 ①報告書 10部 (カラー3部 白黒7部)
②報告書原稿 (データ) 1式

2. 歴史的文化活動振興事業

(1) 子ども歴史クラブ育成事業

子供たちに郷土の歴史についての興味や関心を深める機会を提供し、郷土への愛情を育くむとともに、歴史を学ぶ楽しさを知ってもらうための歴史体験学習を実施。

*会員数 18校 27人 (男子 16人 女子 11人)

第1回活動 「昔のくらしや遊び体験」

日時：5月31日(土) 10:00～15:00

場所：おさごえ民家園

参加者：23名

内容：民家や民具を見学しながら昔の暮らしの様子学んだり、民家の竈を使って実際に炊飯をしておにぎり作りを行った。また手遊びやこま回しなどの昔の遊びをとおして、歴史や文化への理解を深めた。

第2回活動 「発掘調査体験」

日時：8月22日(金) 9:30～12:00

場所：福井駅西口発掘調査地

参加者：14名

内容：現場担当学芸員の指導のもと、実際に使われる道具を使用して発掘調査を体験。出土物や当時の人々の生活についての説明を受け、また、発掘を終了した遺構の見学も行い、当時の人々の生活への理解を深めた。

第3回活動 「史跡散策会」

日時：10月19日(日) 9:00～15:30

場所：藁屋跡→大安禅寺→千畳敷→水切古墳群→鷹巣荘(ビデオ鑑賞・昼食)→糸崎寺→免鳥長山古墳

参加者：20名

内 容：水切古墳・免鳥長山古墳など、普段訪れることがない郊外の史跡を訪ね、福井の歴史の奥深さに触れることのできる活動とした。

第4回活動 「古代のものづくり～勾玉を作ろう～」

日 時：12月7日（日）10：00～12：00

場 所：福井市立郷土歴史博物館講堂

参加者：21名

内 容：古代の装身具「勾玉」を、彫刻等に使用される滑石を削って作製した。

第5回活動 「偉人カルタ ♪をつくろう」

日 時：2月1日（日）9：00～12：00

場 所：福井市立郷土歴史博物館講堂

参加者：21人

内 容：歴史上の偉人の業績を踏まえた偉人カルタを作成し、歴史への関心を高めるための活動を行った。

修了式・入会式

日 時：3月29日（日）

①10：00～12：00 ②13：00～15：00

場 所：フェニックス・プラザ402会議室

①平成20年度修了式

参加者：18名

内 容：修了記念品及び皆勤賞の授与、歴史ビンゴクイズなど

②平成21年度入会式（新会員 47名）

参加者：39名

内 容：会員証授与、21年度の活動説明・歴史クイズ他。

（2）歴史講座開催

幕末の福井藩主松平春嶽の生誕180年を記念して、横井小楠、橋本左内など、優秀な人材を登用し、雄藩福井を率いて幕末の政局に大きな影響を与えた春嶽の人物像を開国、将軍継嗣、大政奉還など様々な局面での発言や行動を通して紹介する講座を開催した。

第1回講座

開 催 日：平成20年12月6日（土）13:30～15:30

会 場：フェニックス・プラザ 小ホール
演 題：「松平春嶽の人物とその生涯
-徳川宗家との距離のとりかたをめぐる
一、二の局面-」

講 師：松浦 玲（歴史家）

参 加 者：260名

第2回講座

開 催 日：平成20年12月14日（日）13:30～15:30

会 場：フェニックス・プラザ 小ホール

演 題：「春嶽の業績
-松平春嶽の先見的主張とその問題-」

講 師：猪飼隆明（大阪大学名誉教授）

参 加 者：240名

講演録 500部

（3）愛宕坂灯の回廊関連業務

「第8回 愛宕坂灯の回廊」

期 間 平成20年4月1日（火）～13日（日）

場 所 愛宕坂茶道美術館・橘曙覧記念文学館

業務内容 ①期間中の夜間開館対応

②抹茶サービス（有料） 人 数 824 人

③灯り設営

場 所 福井市橘曙覧記念文学館庭園

内 容 学生ボランティアに呼びかけ、竹とろうそくの灯りを設営

④愛宕坂桜音楽会2008

日 時 4月13日（日）14:00～ 14:50～

場 所 福井市橘曙覧記念文学館庭園・1階ロビー

内 容 ヴァイオリン・電子ピアノの演奏

参加数 100人

「愛宕坂灯の回廊一秋一」

期 間 平成20年10月3日（金）～5日（日）

場 所 愛宕坂茶道美術館・橘曙覧記念文学館

業務内容 ①広報用チラシの作成・配布

部 数 10,000部 配布件数 520件

②期間中の夜間開館対応

③抹茶サービス(有料) 人数 81人

「第9回 愛宕坂灯の回廊」

期 間 3月27日(金)～31日(火)

場 所 愛宕坂茶道美術館・橘曙覧記念文学館及び周辺

業務内容 ①広報用チラシの作成・配布

部 数 12,000部 配布件数 400件

②看板設営

設置場所

桜橋南詰・足羽山周辺歩道(2ヶ所)・足羽山(2ヶ所)

③期間中の夜間開館対応

④抹茶サービス(有料) 人数 82人

⑤花の修景

設置場所

愛宕坂上り口・愛宕坂茶道美術館前・橘曙覧記念文学館前

3. 愛宕坂茶道美術館の管理運営

(1) 展示及び関連行事

企画展「恋する源氏物語」

会 期：平成20年4月16日(木)～6月25日(水)

概 要：宇野茶道美術館館蔵品からの企画展示。源氏物語が世に出て千年を記念し、源氏物語をテーマにした展示を行った。

展示品：源氏物語図五十四帖、源氏物語「初音」硯箱 ほか 全13点

観覧者数：1,389人

企画展「夏の茶 涼の空間」

会 期：平成20年6月28日(土)～9月3日(水)

概 要：宇野茶道美術館館蔵品および個人所蔵者からの借用展示。夏の茶趣をテーマに、掛軸や絵画、またガラスの茶道具などを展示した。

展示品：伊藤小坡筆 共箱「夏の朝」、紫硝子花火文 エナメル彩茶入 ほか全17点

観覧者数：772人

企画展「狩野派—その美と匠—」

会 期：平成20年9月6日(土)～11月19日(水)

概 要：宇野茶道美術館館蔵品からの企画展。江戸時代に活躍した狩野派の書画を集めて

展示した。また、秋の茶道具も合わせて展示した。

展示品：狩野探幽筆 徽宗桃鳩図写、狩野安信筆 栗の図 ほか 全 15 点

観覧者数：1,473 人

企画展「松尾芭蕉とその門人たち」

会 期：平成 20 年 11 月 22 日（土）～平成 21 年 2 月 25 日（水）

概 要：宇野茶道美術館館蔵品からの企画展。松尾芭蕉をはじめ、蕉門の俳人たちの書画
や掛軸をまとめて展示した。合わせて冬の茶道具を展示した。

展示品：松尾芭蕉「萩の絵」自画賛、与謝蕪村色紙 ほか 全 15 点

観覧者数：782 人

【特別展】「茶箱のたのしみ」

会 期：平成 21 年 3 月 1 日（日）～4 月 12 日（日）

概 要：箱の中に必要な茶道具を収めた「茶箱」をテーマに、桃山時代から現代まで、さ
まざまな趣向の茶箱を集めて展示した。借用先は富山市佐藤記念美術館、石川県
立美術館、金沢市立中村記念美術館など。

展示品：伝利休所持茶箱、暦張茶箱など ほか 全 19 点

観覧者数：722 人(3 月 1 日～3 月 31 日まで)

○関連企画

「茶箱で呈茶」

日 時：3 月 26 日（金）、3 月 30 日（月） 14：00～16：00

場 所：福井市愛宕坂茶道美術館 茶室「尚庵」

内 容：ロビーにて、特別展の企画内容に合わせ、茶箱での呈茶を行なった。点
前はシルバー人材センターの田村宗寿氏（茶道教授）が行なった。

参加者：46 人（3/26：11 名 3/30：35 名）

平成 20 年度 美術館総観覧者数：6,607 人

※内、平成 19 年度事業特別展「煎茶の美」4 月 1 日～13 日の間の観覧者数は 1,469 人

| | | | |
|--------|-----|-----------------|--------------|
| 茶室貸出 | 件数： | 38 件（うち減免 25 件） | 使用者数：873 人 |
| 展示室貸出 | 件数： | 98 件（うち減免 17 件） | 使用者数：1,353 人 |
| 総利用者数： | | <u>8,833 人</u> | |

(2) 体験講座

「おとなのための茶道体験講座」

日 時：6月1日(土) ①10:00～11:30②12:00～13:30③14:00～15:30

場 所：茶室「尚庵」

参加者数：25名

講 師：田村宗寿(シルバー人材センター・茶道教授)

概 要：茶室「尚庵」にて、茶道の経験がない大人の方を対象とした茶道体験講座を開催した。茶室での床の間の拝見の仕方や、お茶やお菓子のいただき方など茶道の初歩を学んだ。

「アロマの印香づくり」

日 時：7月12日(日) 13:00～15:00

場 所：福井市愛宕坂茶道美術館 4階研修室

講 師：大津康代(小大黒屋)

参加者数：20名

概要：日本古来の香料に、アロマテラピーで用られる植物性の香料を混ぜて練り合わせ、型押しをしてオリジナルの印香を製作した。

「愛宕坂をゆかたで歩こう」

日 時：8月2日(土)、3日(日)、4日(月)

場 所：福井市愛宕坂茶道美術館 3階ロビー

概 要：ふくいフェニックス祭りの行なわれた3日間、和装で来館の方は入館料を無料とした。3日、4日はロビーにて立礼式の点前による呈茶を行なった。

「ZEN への招待～坐禅と法話～」

日 時：10月4日(土)

場 所：青松園(足羽神社隣)

講 師：花房禅佑(瑞源寺住職)

参加者数：32名

概 要：愛宕坂秋の灯の回廊事業とのタイアップ企画。瑞源寺の花房禅佑住職を講師に迎え、青松園にて座禅と法話の講座を行なった。庭園ではLEDキャンドルが灯され、参加者は幻想的な風景の中、静けさに耳を澄まして座禅を行なった。

「おとなのための茶道体験講座②」

日 時：10月18日(土) ①10:00～ ②12:00～ ③13:00～ ④15:00～

場 所：愛宕坂茶道美術館 茶室「尚庵」

講 師：田村宗寿(シルバー人材センター・茶道教授)

参加者数：25名

概要：春に行なった同講座の人気が高かったため同じ講座を開催した。茶室「尚庵」にて、茶道の経験がない大人の方を対象とした茶道体験講座を開催した。茶室での床の間の拝見の仕方や、お茶やお菓子のいただき方など茶道の初歩を学んだ。

「新春の和菓子づくり」

日時：平成21年2月1日（日）13:00～14:30、15:00～16:30

場所：福井市愛宕坂茶道美術館 4階研修室

講師：福井県菓子工業組合青年部6名

参加者数：40名

概要：菓子職人の方々の指導のもと、『下萌え』『雪中花』『寒椿』と銘が付けられた上生菓子3種類を製作した。出来上がった菓子はそれぞれ抹茶とともに試食した。

(3) 「愛宕坂だより」発行

4月、7月、11月、2月と発行。

当館と橘曙覧記念文学館、愛宕坂の情報を掲載した。

4. 橘曙覧記念文学館の管理運営

(1) 展示及び関連行事

【秋季特別展】「吉村昭『雪の花』～笠原白翁と種痘～」

期間：平成20年10月3日（金）～11月9日（日）

会場：橘曙覧記念文学館 2階第1展示室、第2展示室（一部）

概要：小説『雪の花』（吉村昭著、新潮社、1988年）をもとに、幕末の福井に生きた医師・笠原白翁の業績、人物像を紹介した。展示は小説の一部とともに天然痘や白翁の関連資料を展示し、おもに種痘普及までについて取り上げた。また、親友であった橘曙覧との関係についても触れた。第2展示室の一部では著者吉村昭氏について原稿、愛用品、写真、略年譜等により紹介を行った。

展示品：『めっちゃ医者伝』吉村昭自筆原稿（荒川区寄託吉村家資料）、笠原白翁筆「戦兢録」第5巻（福井市立郷土歴史博物館）、ほかに吉村昭自筆原稿、愛用品、写真等を展示

観覧者数：1,184人

【春季特別展】「地雷のあしあと～ボスニア・ヘルツェゴビナの子どもの叫び～」

期間：平成21年3月20日（金・祝）～4月19日（日）

協 力：小学館

後 援：ボスニア・ヘルツェゴビナ大使館

会 場：橘曙覧記念文学館 2階第1展示室、第2展示室（一部）

概 要：ボスニア・ヘルツェゴビナの子どもたちが描き、詩画集『地雷のあしあと』
におさめられた地雷に関する絵の原画を巡回展示した。こやま峰子氏が絵に
添えた詩とともに展示を行った。

展示品：『地雷のあしあと』（詩・こやま峰子、小学館、2003年）

収録の原画69点および詩

観覧者数： 329人（平成21年3月20日から3月31日まで）

○ オープニングイベント

「地雷のあしあと」詩の朗読とおはなし

日 時：平成21年3月20日（金・祝） 14：00～15：30

出 演：【おはなし】 こやま峰子（詩人・童話作家）

【朗 読】 坪川祥子（いちのすけ文庫）

会 場：橘曙覧記念文学館 1階ロビー

概 要：こやま峰子氏からボスニアの現状や風景、子どもたちの様子、地
雷問題等について、スライドを交えながらお話をうかがった。お
話の後に、坪川祥子氏に『地雷のあしあと』収録のすべての詩を
朗読していただいた。

参加者：30人

テーマ展「曙覧を知ろう」

期 間：平成20年5月9日（金）～9月30日（火）

概 要：曙覧没後に出版された関連書籍を分類して展示。

展示品：『橘曙覧遺稿志濃夫廼舎歌集』ほか 計60点

観覧者数：1,885人

テーマ展「曙覧を知ろう2」

期 間：平成20年11月12日（水）～平成21年3月16日（月）

概 要：曙覧の歌とともにゆかりの場所を紹介した。

展示品：橘曙覧筆和歌屏風ほか 計9点

観覧者数：1,083人

総観覧者数：6,237人（平成21年3月末まで）

※内、平成19年度事業特別展「みんなおいでよポエムの国へ」4月1日～5月6日の間の
観覧者数は 1,756人

(2) 講座・イベント等の開催

「あ！この歌しってる～夏休み童謡コンサート～」

日 時：平成20年7月26日（土） 13：30～14：10

会 場：橘曙覧記念文学館 1階ロビー

出 演：仁愛女子高等学校合唱ボランティアメンバー

指導 高橋かほる教諭

概 要：仁愛女子高等学校の生徒による童謡コンサートを行った。曲は生徒が選定し、第1部「動物のうた」、第2部「季節のうた」にわけて合唱した。

参加者：26人

「愛宕坂をゆかたで歩こう」

日 時：平成20年8月2日（土）～4日（月）

概 要：フェニックス祭りにあわせて、浴衣（和装等）で来館された方は入館無料とした。4日は花火大会開催のため夜間開館し、庭園にLED、パイプ椅子を設置し、観賞の場として提供した。

参加者：54人

体験講座「暮らしの絵手紙～牛乳パックで壁かけづくり～」

日 時：平成20年8月5日（火）10：00～12：00 13：30～15：30

会 場：愛宕坂茶道美術館4階会議室

講 師：白崎昌彦（日本絵手紙協会公認講師）、白崎リュウ子

概 要：夏野菜などを題材に絵手紙を描き、牛乳パックで作成した壁かけに貼って作品を完成させる講座を行った。

参加者：32人（うち子供12人）

「クリスタルボウル演奏会」

日 時：10月5日（日） 18：00～19：00

場 所：橘曙覧記念文学館 1階ロビー

演 奏：坂井美貴（アルケミーボウルサウンドセラピスト）

参加者数：36名

概 要：愛宕坂秋のライトアップとのタイアップ事業。水晶でできた楽器クリスタルボウルを藁屋内にて演奏し、参加者はロビーに敷いたマットの上に座り、約一時間鑑賞した。

朗読会「冬の朗読会～サンタクロースからのメッセージ～」

日 時：平成20年12月21日（日） 13：30～15：00

会 場：橘曙覧記念文学館2階図書室

朗読作品：『デューク』（江國香織著、講談社、2000年）

『急行「北極号」』（クリス・ヴァン・ホルズバーク著、村上春樹訳、

あすなろ書房、2003年）

出演：[朗読]宮沢好美（フリーアナウンサー）

[演奏]黒田美保（フルート奏者）

概要：クリスマスにちなんだ2作品の朗読とフルートの演奏を行った。作品は中学生以上を対象とした内容のものを選定し、大人が楽しみ、落ち着いて作品や演奏を鑑賞することができる朗読会とした。

参加者：34人

文学講座「曙覧をよむ～漢詩編～」

日時：平成20年11月29日（土） 14:00～15:30

会場：愛宕坂茶道美術館4階会議室

講師：前川幸雄（前福井大学教育地域科学部教授）

概要：これまであまり注目されなかった曙覧の漢詩について取り上げた。

受講者：29人

郷土作家群像シリーズ文学講座「泉鏡花の世界」 全3回

日時：平成21年3月7日（土）、14日（土）、21日（土）

14:00～16:00

会場：愛宕坂茶道美術館4階会議室

講師：越野格（福井大学教育地域科学部教授）

概要：泉鏡花の生涯と作品について学んだ。『夜叉ヶ池』ほか福井ゆかりの作品についても取り上げた。

受講者：延べ68人

短歌入門講座（前期）「たのしい短歌入門」 全3回

日時：平成20年7月6日（日）、19日（日）、8月3日（日）

13:30～15:00

会場：愛宕坂茶道美術館4階会議室

講師：市村善郎（短歌誌『百日紅』代表）

概要：短歌初心者を対象とした入門講座を開催。現代の短歌鑑賞、実作指導などを行った。

受講者：延べ56人

短歌入門講座（後期）「短歌をはじめよう」 全3回

日時：平成20年12月13日（土）、平成21年1月24日（土）、2月21日（土）

14:00～16:00

会場：愛宕坂茶道美術館4階会議室

講師：青木道枝（『新アララギ』同人、山梨文化学園講師）

概要：短歌初心者を対象とした入門講座を開催。万葉集や橘曙覧の短歌鑑賞や受講者作品の指導を行った。

受講者：延べ67人

詩作入門講座「詩の創作塾」 全6回

日時：平成20年11月30日（日）、12月20日（土）、
平成21年1月17日（土）、1月31日（土）、2月8日（日）、
3月1日（日） 13：30～15：30

会場：愛宕坂茶道美術館4階会議室または橘曙覧記念文学館1階研修室

講師：川上明日夫氏（日本現代詩人会会員、日本文藝家協会会員）

概要：詩作初心者を対象に現代詩の紹介や実作指導を行った。

受講者：延べ75人

講座参加者数：441人（延べ人数）

(3) 研修室貸出について

件数：2件（うち主催講座利用 1件） 利用者数：21人

総利用者数：6,247人

(4) 橘曙覧顕彰事業

① 第14回平成独楽吟募集事業実施

【募集】

募集期間：平成20年10月1日～平成20年12月31日

募集内容：①平成独楽吟部門 「たのしみは…」ではじまり「…とき」で終わる短歌

*歌にあわせた絵付はがきの募集を実施（同部門のみ）

②一般短歌部門 自由詠の短歌

募集方法：市政広報掲載・ポスター、チラシ配布・NHKによるラジオ放送・福井新聞掲載・公募雑誌掲載（携帯電話での受付有）・インターネット他

賞及び副賞 各部門 橘曙覧賞 1首（賞状・副賞5万円）

福井県知事賞他 8首（賞状・副賞2万円相当）

熊本市賞 1首（賞状・特産品1万円相当）

*平成独楽吟部門のみ

秀作 21首

【募集結果・審査】

(1) 平成独楽吟の部

審査員長 定道明（詩人・作家）

審査員 佐孝石画(俳人) 足立尚計(歌人)
橋谷桂子(童話作家)

応募総数: 3,422首

内訳: はがき 2,860首 インターネット 429首 携帯電話 133首

審査:【1次審査】 1月5日(月)～ 2月10日(火)

4名の審査員が各自30首を選出

【2次審査】 2月13日(金)

4名の審査員により、橘曙覧賞、他入賞作品9首及び秀作21首を決定

(2)一般短歌部門

審査員長 福島泰樹(歌人)

審査員 市村善郎(歌人) 喜多昭夫(歌人) 足立尚計(歌人)

応募総数: 1,350首

内訳: はがき 1,215首 インターネット 112首 携帯電話 23首

審査:【1次審査】 1月5日(月)～ 2月4日(水)

3名の審査員が各自30首を選出

【2次審査】 2月7日(土)

3名の審査員により、2次審査通過作品41首を選出

【最終審査】 2月9日(月)～ 2月13日(金)

審査委員長によって、橘曙覧賞1首を含む入賞作品9首と秀作21首を決定。

【表彰式】

日時:平成21年3月15日(日)13:30～15:00

場所:福井市橘曙覧記念文学館 1階ホール

内容

《表彰》 各部門出席者

- ・ 橘曙覧賞 1名
- ・ 福井県知事賞 2名
- ・ 福井県教育委員会賞 2名
- ・ 福井市教育委員会賞 2名
- ・ 福井新聞社賞 1名
- ・ 福井中央郵便局長賞 1名
- ・ 歴史のみえるまちづくり協会理事長賞 1名
- ・ 熊本市賞 1名(独楽吟部門のみ)
- ・ 秀作 9名

《総評》 各部門審査員長による総評

【作品展示】

場所:福井市橘曙覧記念文学館 2階

内 容:各部門の入賞作品及び秀作をパネル展示。また、絵付はがきの一部を展示。(絵付きはがきは 5月6日(水)まで)

【作品集】

内 容:各部門の入賞・秀作の作品、総評を掲載
部 数:1,000部

② 曙覧史跡めぐりについて

「お伊勢参りの足跡を訪ねて今庄宿まで」

日 時:平成20年11月8日(土) 8:30~16:00

講 師:河合清士氏(元福井市橘曙覧記念文学館館長)

コース:福井市橘曙覧記念文学館→妙観寺→生家跡(車中)→藁屋跡→丹巖洞→
下荒井・茶屋石碑→越前市・天保救荒碑ほか→吉野瀬川→伊藤家(近江
屋薬局)、山本家(車中)→越前市武生公会堂記念館→神崎家→南越前町・
妙泰寺→今庄宿、京藤家

募 集:市政広報・新聞掲載・ホームページ他

参加者:19名

5. 会議開催

(1) 理事会

第1回 平成20年5月27日(火)
評議員の選出について
平成19年度事業報告・収支決算について

第2回 平成21年3月23日(月)
評議員の選出について
平成21年度事業計画・収支予算について

(2) 評議員会

第1回 平成20年5月27日(火)
理事の選任について
平成19年度事業報告・収支決算について

第2回 平成21年3月23日(月)
理事の選任について
平成21年度事業計画・収支予算について

(3) 評議員会専門部会

振興部会 平成20年7月2日(水)
11月28日(金)「語り部」ガイド視察

企画運営部会 7月2日(水)

普及啓発部会 7月3日(木)

整備促進部会 7月3日(木)